

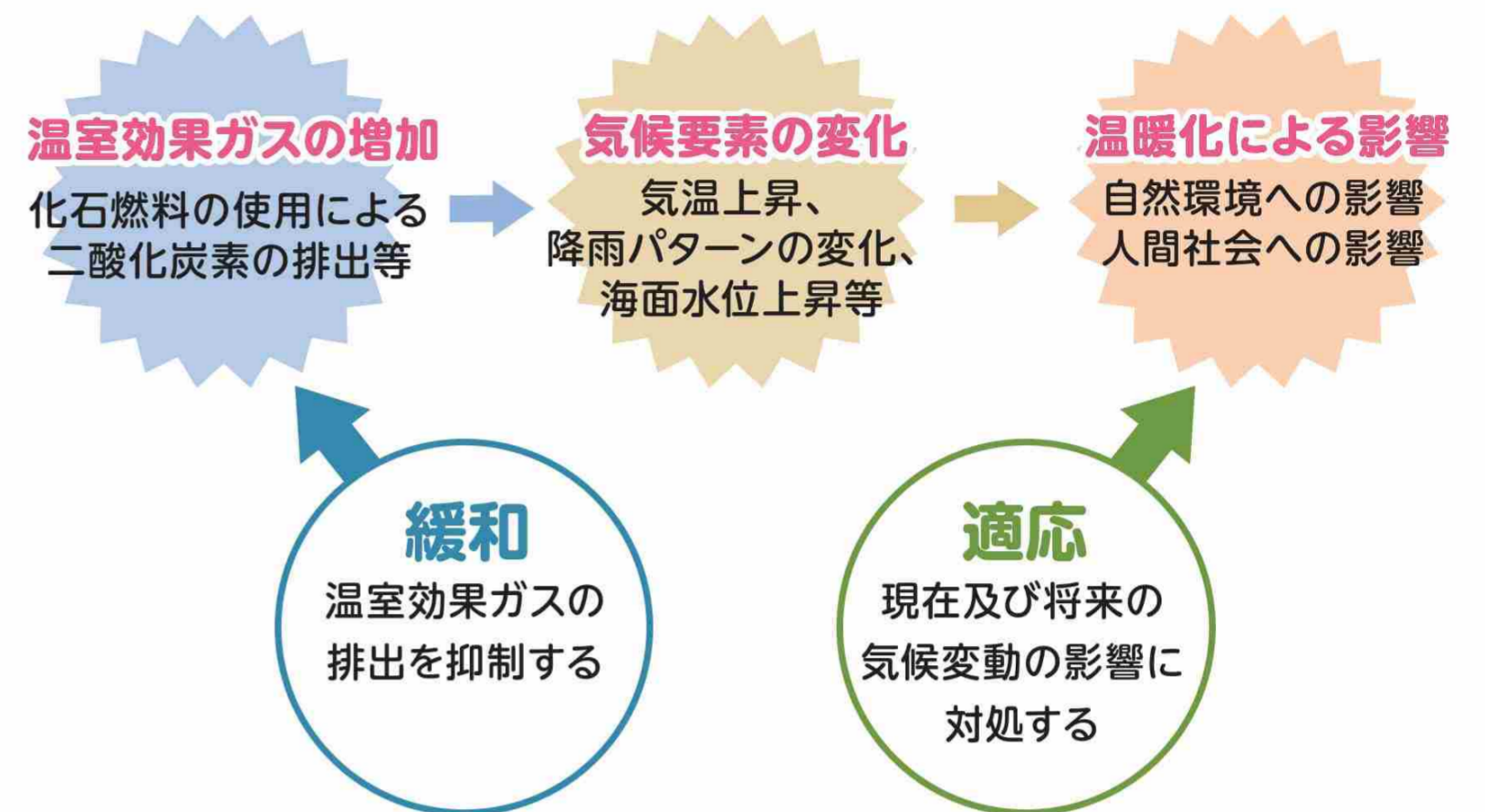


# 私たちができることは、何だろう？

## どうしたらいいの？

気候変動対策は、大きく「緩和」と「適応」の2つがあります。  
 このうち「緩和」は、気候変動の原因となる温室効果ガスの排出を減らす対策です。  
 一方、気候変動による影響は避けられないことから、気候変動からの被害を防ぐための対策である「適応」も進めていく必要があります。  
 この「緩和」と「適応」を両輪として進めていくことが重要です。

### 気候変動と緩和策・適応策の関係



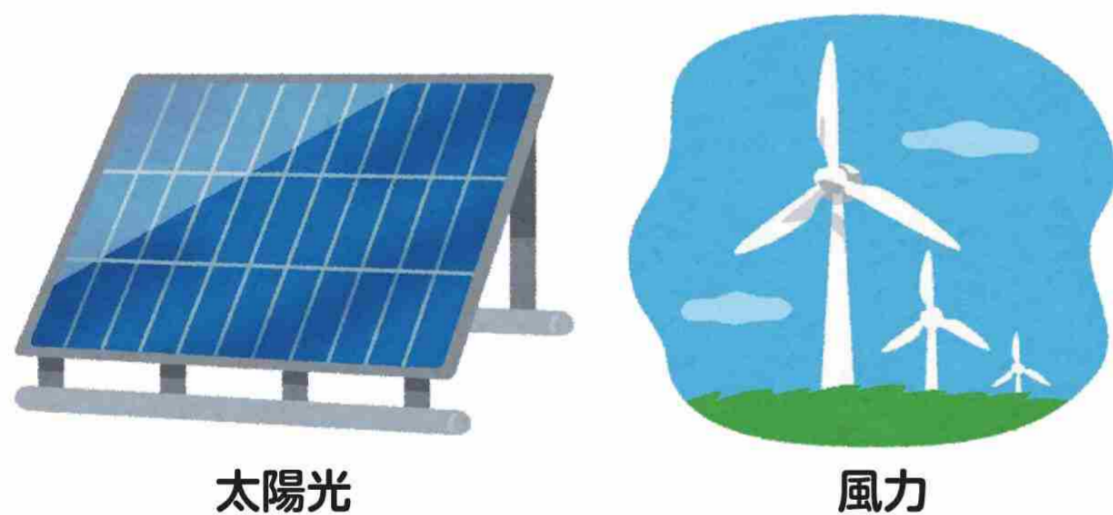
出典：環境省

## 緩和策にはどんなものがあるの？

温室効果ガスの排出量を減らす「緩和策」としては、石油や石炭など化石燃料をできるだけ使わないこと、モノやエネルギーを大切に使うこと、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を吸収する森林を守り育てていくことが大切です。  
 代表的な緩和策にはどんなものがあるか見てみましょう！

緩和策  
1

太陽光や風力などの再生可能  
エネルギーを利用する



緩和策  
2

節電・節水や、エコドライブを行うなど、  
エネルギーを大切に使う



緩和策  
3

エネルギーをあまり使わないLED照明や、  
省エネ型の家電、エコカーなどを使う



緩和策  
4

バスや徒歩・自転車など、  
自動車以外の移動方法にする



緩和策  
5

ごみを減らし、リサイクルに取り組む



ごみを減らしていくために～3Rチャレンジ  
 出典：小学生環境読本 沖縄の環境 (平成30年 (2018年) 3月発行)

緩和策  
6

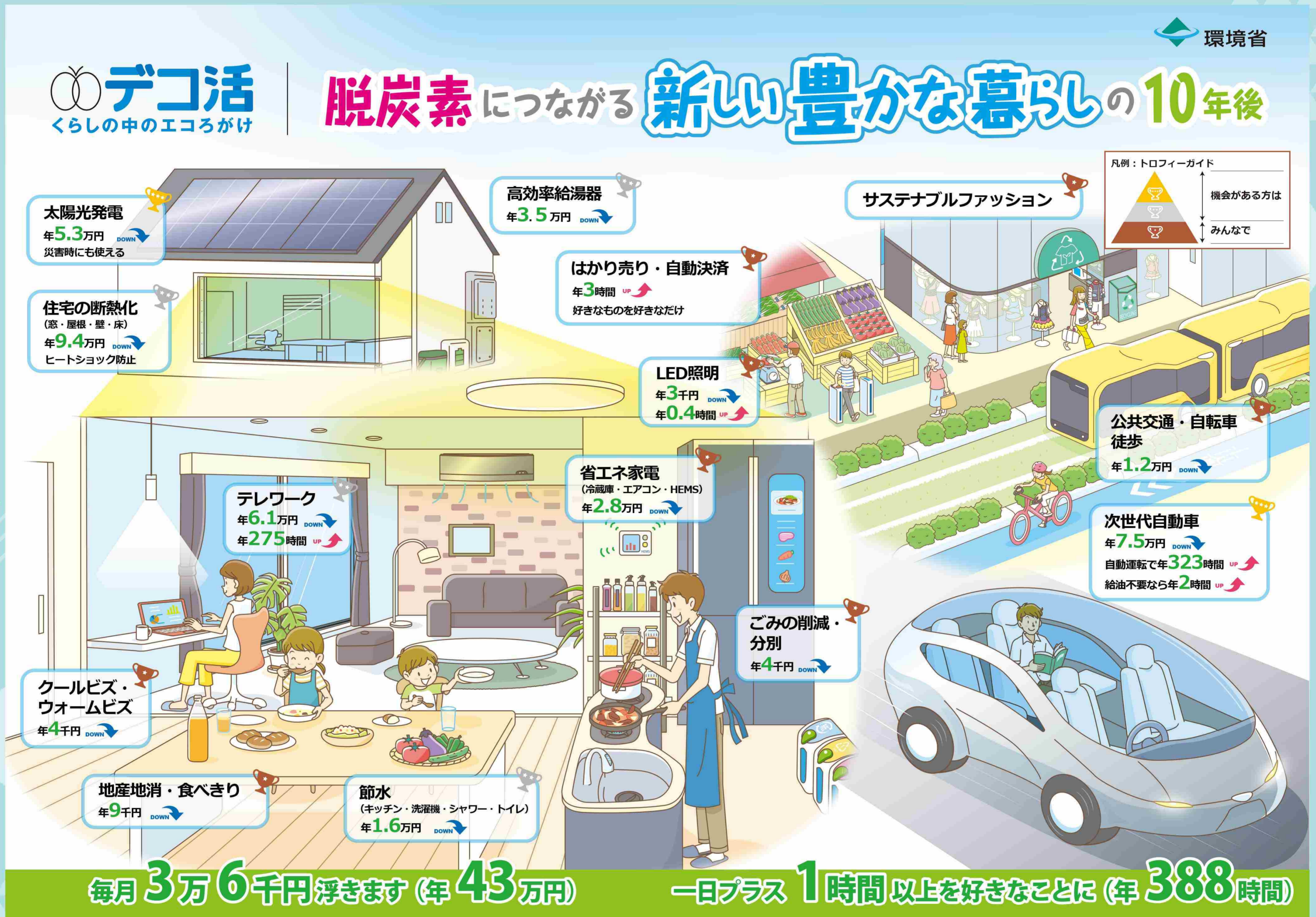
CO<sub>2</sub>を吸収する木を増やす



# かんわさく 私たちにできる「緩和策」ってなんだろう？

暮らしの中で取り組める「緩和策」として、日本各地で「デコ活」の動きが広がっています。「デコ活」とは、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と環境に良いエコ(Eco)という意味を含む「デコ」と、活動・生活の「活」を組み合わせた新しい言葉で、二酸化炭素を減らす環境に良い活動という意味が込められています。

下の絵は、デコ活の全体像(脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの絵姿)を示したものです。皆さんも日々のデコ活に取り組み、二酸化炭素を減らしながら、節約したお金や時間で豊かな暮らしを目指してみませんか？



## 県内で取り組まれている「緩和策」を見てみよう！

### 再生可能エネルギーに関する取組

#### ●太陽光発電

太陽光発電は、太陽の光エネルギーを電力に変える再生可能エネルギーです。八重瀬町庁舎では、年間使用電力量の約30%を太陽光発電で供給し、年間約72tのCO<sub>2</sub>の削減につながっています。



八重瀬町庁舎における太陽光パネル

### 省エネに関する取組

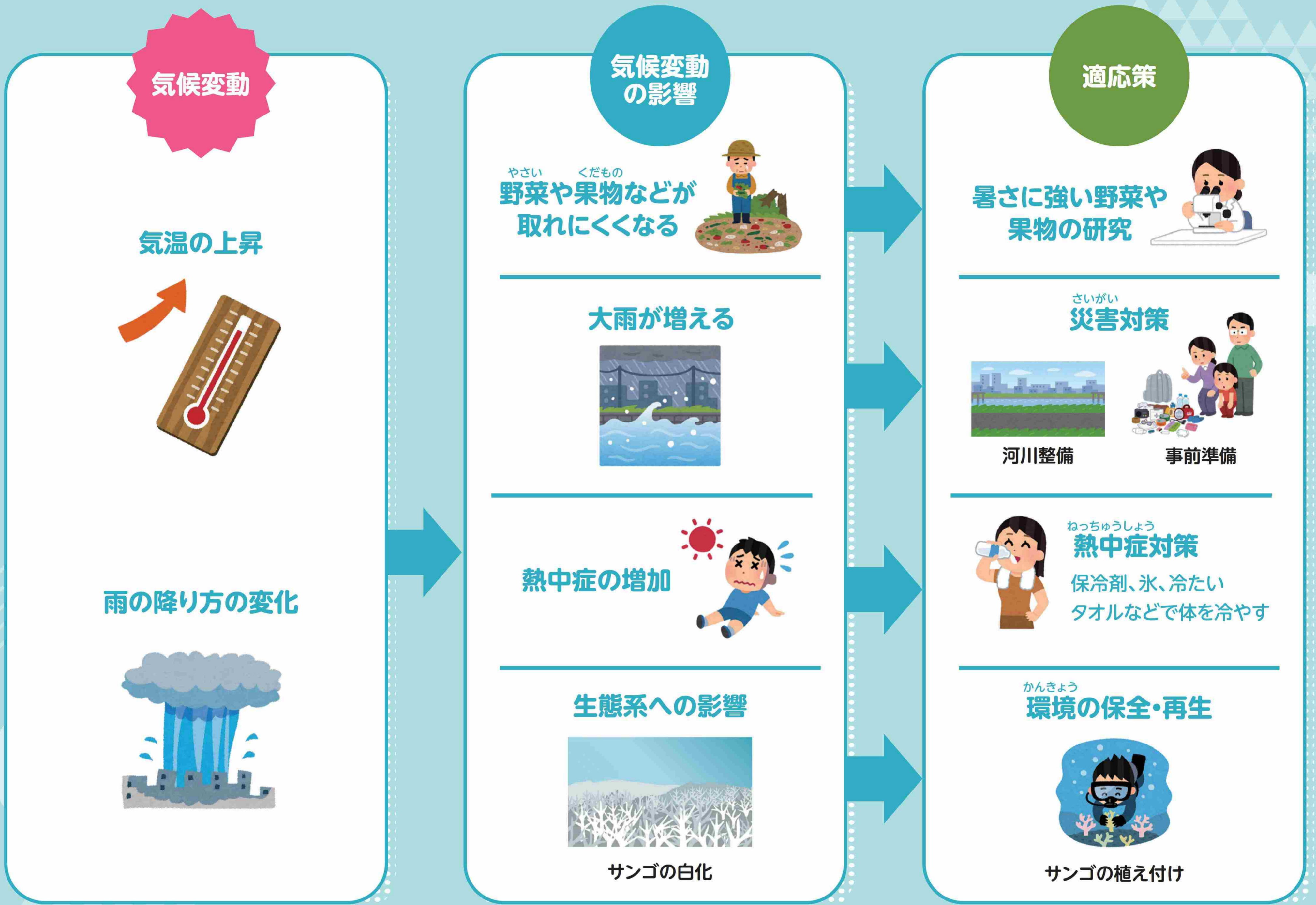
#### ●電動車(EV・PHEV)への転換

県では、公用車を電気で動くEVなどの電動車に転換する取組を進めています。また、県内では、EVバスの導入や、県産EVの開発など、様々な取組が進められています。



てきおうさく  
**適応策にはどんなものがあるの？**

きこうへんどう  
 気候変動から社会や暮らしを守るための「適応策」としては、気候変動でどんな影響が出るかを考え、それに対して、あらかじめ対策を取ることが大切です。  
 えいきょう  
 ここでは、代表的な気候変動の影響と、その影響に対する「適応策」を見てみましょう。



**県内で取り組まれている「適応策」を見てみよう！**

**農業分野での技術開発**

気候変動に適応した果樹の新しい品種・品目を作るための技術開発、新たな栽培技術や優良品種の開発を行っています。



パイン新品種「沖農 P19」



アセロラ品種「レッドジャンボ」



ドラゴンフルーツ 品種「インパクトルビー」



パッションフルーツ 品種育成



シークワサー 品種 (上: 伸本シードレス 下: 大魚見クガニ)



マンゴー栽培試験



マンゴー品種育成

出典：要覧 沖縄県農業研究センター

**サンゴの保全・再生**

気候変動で赤土が多く流出したり、水温が高くなることで、サンゴが失われることが予測されていることから、サンゴの保全・再生のための調査研究を行っています。



恩納村漁業協同組合の管理するサンゴ養殖場

出典：沖縄県環境部

# 私たちにできる「適応策」ってなんだろう？

## 健康問題の観点から

気候変動で気温が上がることで、熱中症の危険性が増したり、熱帯性の感染症が広がる可能性があります。そうならないためどんなことに心がけたらいいでしょうか。

### 熱中症予防のためには？

熱中症は、暑い中での作業や運動で体温がうまく調節できなくなり、体の中の水分や塩分のバランスが崩れることで発症します。

真夏日や熱帯夜は年々、増えていってまいりますので、「これまで大丈夫だったから」と油断せずに、水分をこまめに補給するなど、熱中症対策に取り組みましょう。



### 熱帯性の感染症に気をつけよう！

「蚊」は感染症の原因(ウイルスなど)を運ぶので、気候変動で気温が上がると、「蚊」が活発になることで過去に起きた感染症が再び広まったり、外国から「蚊(ネッタイシマカなど)」がやってきて熱帯性の感染症を広める可能性があります。

そのため、「蚊」を発生させないこと、そして「蚊」に刺されない工夫が「適応策」として大切です。

## 災害対策の観点から

気候変動で雨の降り方が変わること豪雨が増え、水害や土砂災害が増える可能性があります。災害対策としてどんなことに心がけたらいいでしょうか。

### 災害対策には事前の備えが大切です！

これまでに災害がなかったような場所でも油断せず、災害が起きたときに、すばやく対応できるよう、防災グッズを備えたり、ハザードマップなどを見て避難方法を家族で相談しておきましょう！

#### 防災グッズの例

<b>マッチやライター</b> ガス切れや湿気に注意。防水マッチも市販されている。 	<b>医療品</b> 胃腸薬、消毒液、包帯、持病の薬など。 	<b>感染症対策</b> 手指消毒液(アルコール)マスク、ウェットティッシュなど。 	<b>懐中電灯・電池</b> 夜間、すぐに手の届く場所に、予備の電池は少し多めに。 
<b>食料品</b> カップ麺、乾パン、缶詰、チョコレートなど。※赤ちゃんのいる家庭は粉ミルク、ほ乳瓶なども。 	<b>衣類・運動靴</b> 下着・雨具・ジャンパー・タオルなど。怪我を防止するため。 	<b>ヘルメット・軍手</b> 落下物や飛来物から頭を保護するもの。瓦礫の撤去や救済に、厚手のものを用意。 	<b>携帯電話充電器</b> 充電器・モバイルバッテリーなど。 
<b>缶切り</b> 多機能のものが便利です。 	<b>貴重品</b> 現金、通帳、印鑑など。 	<b>寝具</b> 寝袋やサバイバルシートなど。 	<b>重さの目安は、男性で15kg、女性で10kg程度です。</b> 
<b>ラジオ</b> 情報収集に欠かせない。電灯と一体型のもも便利。 	<b>飲料水</b> 一人一日3リットルが目安。 	家族構成を考慮して、各家庭で必要な物を加えましょう。	